

2020年から施行される同一労働同一賃金、求められる企業の対応策とは？

働き方改革の一環で、2020年4月1日から全国一斉に施行される「同一労働同一賃金」。同一労働同一賃金とは、同じ職場で同じ仕事をする正規雇用の従業員と、非正規雇用の従業員との待遇や賃金格差をなくすという考え方で、それまでも労働関係の法律で一定のルールは設けられていましたが、今年からそのルールが明確化され、すべての事業主はこれを徹底することが求められます。

従業員満足度・労働生産性を高めて企業売上向上に導く考え方を

残業を減らし、有給取得のしやすい環境整備も整えた、でも蓋をあけてみると売上が芳しくない…

それは、本質的な働き方改革の実施ができていないことが原因です。人手不足の今

- ・従業員一人当たりの労働生産性の向上
- ・離職率の低下、採用強化
- ・従業員満足度の向上

左記課題は早急に取り組む必要があります。

同一労働同一賃金とは … 正社員と非正社員との待遇格差をなくす目的でつくられた

これまでの日本の企業文化においては、正社員は非正社員よりも良い待遇で働けることが当たり前のこととされてきました。給与面はもちろん、福利厚生で受けられるサービスまで、大きな差がありました。それはもはや差別と言っても差支えないほどです。もちろん責任の重さや業務内容が全く異なるものであれば、それらに見合う報酬も違うことは至極まっとうな道理でしょう。しかし、仕事の条件や負担が同じであった場合、こうした身分による差別は今後持続可能な日本社会を作っていく上でよろしくない、ということで想起されたのが、この「同一労働同一賃金」という考え方です。

同一労働同一賃金は、いわゆる正規雇用労働者（無期雇用フルタイム労働者）と非正規雇用労働者（有機雇用労働者、パートタイム労働者、派遣労働者）の間の不合理な待遇差の解消を目指すものです。

同一労働同一賃金の対象者の3パターン

同一労働同一賃金の対象となる労働者は、以下の3パターンです。

- ・有期雇用労働者
- ・パートタイム労働者
- ・派遣労働者

施行後は、上記の雇用形態で働いている社員と正社員との待遇格差がなくなるというわけです。

また無期限のフルタイム労働者となった人は、この制度から外れるので改めて自身の雇用形態を確認しておきましょう。

非正社員の割合は約4割、今後増える見込みも

2018年時点での非正規労働者の数は2,120万人にもおよび、労働市場全体の40%近くを占めると発表されています。終身雇用の時代が崩壊し、定年退職するまで安定した職場で過ごすという神話が崩壊した今、誰でもあっても非正規社員になる可能性はあるのです。そのため、たとえ現在はその立場になかったり、事業主でなかったとしても、この制度に関する知識は持っておいて損はないでしょう。

同一労働同一賃金のメリットとデメリット

企業（事業主）側のメリット・デメリット

メリット①：非正規社員の労働生産性向上が期待できる

これまで正当な評価をされておらず、かつ満足な給与支給がなかった非正規労働者にとっては、同一労働同一賃金が企業

東北から元気発進！！ワクワク"夢実現"プロジェクト



仕事と生活調和推進企業として
ワーク・ライフ・バランスの実現を応援します

において正しく導入されれば、自身の働き方を認めてもらうチャンスとなります。

同じ職場で働く正社員と同じような評価方法や給与体系となれば、日常業務に対するモチベーションが向上し、労働生産性もそれに伴い高くなっていくことが期待できます。

メリット②：優秀な人材を確保・獲得しやすくなる

また、そうした制度が企業の中でしっかりと組み込まれていることが社内外に広まれば、「ここはしっかりしている会社だ」ということで、正規・非正規問わず社員からその企業への評価は自然と高くなってゆきましょう。そうなれば自社内にいる優秀な人材が外部へ流出する可能性は低くなります。また、採用面でもプラスの効果を与えるのは間違いないでしょう。

デメリット①：人件費が高くなる（≒適性になる）

一つ目は、人件費の上昇です。どのような雇用形態にとっても平等な評価と報酬が与えられること自体は、全ての企業が目指すべきあり方です。これまで日本では正社員と非正規社員との格差が当たり前に行われてきた歴史があります。その歴史や古い企業体質を変革し、給与体系を新しいものに変更するのは容易なことではないでしょう。

正しい方向へ向かっているのです。ここではデメリットではなく、チャレンジと言っても良いかもしれません。

デメリット②：労働者に対して説明責任による準備など、必要工数が増える

2020年より施行される同一労働同一賃金では、社員から企業へ「なぜこの給料なのか」「どのように評価するのか」といった説明機会を自身の上司へ請求できる権利を行使できるようになります。あらかじめ企業側から社員に対し、事前に詳細な説明は行われるべきですが、都度対応しなければならぬ場面も出てくるでしょう。その際にこれまで発生していなかった説明会の開催や、理由を調べるための調査時間などの工数が新たに発生する可能性が考えられます。

なるべく社員間で疑問が生まれないような、準備や仕組み作りも同時に企業側には求められてきます。

続きは次号で…

bowgl.com 記事より



どうなる？！雪不足

ナプロアースがある福島県伊達市でも今冬はまだ積雪がありません。豪雪地帯で知られる会津地方も全く雪が無いようです。

スキー場はもとより、今後の水不足による農作物への影響が懸念されるところです。

冬になると、大根やキャベツなどの野菜を、畑の雪の下に埋めて保存する越冬野菜（雪下野菜）が美味しくなります。雪の中の温度は0℃、しかも湿度が適度に保たれているので、野菜がみずみずしいままで保存できます。さらに、雪の下に野菜を長く保存するとでんぷんが分解して糖分になるので糖度が増し、野菜が甘くなります。私も毎年、雪下キャベツを楽しみにしていましたが、今年は食べられそうにありません。さらにお米への影響も心配です。

昨年は各地で台風が多く発生しましたが、その原因に海面温度の上昇が挙げられます。根本的な原因は温暖化で、このまま海面の温度が高いままだと雪が降らなかつたり、逆に帳尻合わせるかのようにならぬうちに一気に雪が降り、雪害が起きてしまう可能性もあるようです。

2020年の新しい祝日

1964年東京オリンピック以降、開会式の10月10日は「体育の日」という祝日でした。2020年以降、「体育の日」の名称は「スポーツの日」に改められます。

また、2020年だけは「スポーツの日」がオリンピック開会式の7月24日に移動します。併せて、2020年は「海の日」が7月23日になります。

この移動により、2020年は7月23日（木）～26日（日）の4連休 夏のシルバーウィークとなります。

ただし、スポーツの日が10月から7月に移動したため今年の10月には祝日がありません。来年以降、「スポーツの日」は10月の第2週土曜日になります。

また2月23日は新しい天皇が即位されてからはじめての国民の祝日「天皇誕生日」が訪れます。

福島県もオリンピックに向けての準備が着々と進んでいます。是非この機会に訪れてください。

東北から元気発進！！ワクワク"夢実現"プロジェクト



仕事と生活調和推進企業として
ワーク・ライフ・バランスの実現を応援します